

公益社団法人 日本山岳・スポーツクライミング協会
令和7年度 第6回ハイブリッド開催定時理事会報告

日 時：令和7年8月14日（木） 13時～16時50分

場 所：JSOS ビル 3F 会議室 5 及び Zoom

出席者：

| | | | | |
|-------|---------------------|-----------|-----------|-----------|
| 町田 幸男 | 石井 昭彦 | 原 勇人 | (欠) 安井 博志 | 藤江 理枝 |
| 廣川健太郎 | 吉田 春彦 | (欠) 下村 真一 | (欠) 小高 令子 | (欠) 西原斗司男 |
| 畑中 渉 | 中橋 沙羅 | 蛭田 伸一 | 栗田季慎子 | |
| 望月 啓治 | 星 一男 | 野村 善弥 | 中島 隆之 | 監事 |
| 赤尾 浩一 | 石田 英行 (14:00 より) | 古賀 英年 | 平田 伸也 | 古屋 寿隆 |
| 小田部 拓 | 武田 豊明 | 前田 善彦 | 奥井 健吾 | 佐久間 務 |

理事 出席者：22名 欠席者：4名

監事 出席者：2名

1. 開会

2. 会長挨拶

豪雨により災害に見舞われたところにはお見舞い申し上げます。8月に入り佐賀でのJOC強化指定施設認定の授与式と広島でのインターハイ開会式に参加した。開会式の挨拶でたくさん的高校生に向けぜひ登山を続けてもらいたいと話をした。本日も多くの議題があり円滑かつ慎重な審議をお願いします。

3. 会議成立状況報告

理事数 26名中 21名出席（途中から+1名） 監事数 2名中 2名出席
（定款第33条、定足数=14名（過半数以上））

4. 議長選出 会長が議長をつとめる（定款第32条）

5. 議事録署名人 会長及び監事（定款第34条）

6. 議 題

議案第1号 前回理事会議事録の承認について
すでに、内容の確認は完了しており承認された。

議案第2号 組織管理運営規程改定に係る諮問について
望月専務理事が資料を基に説明し、諮問することについて異議なく承認された。
棄権 0名 反対 0名 賛成 21名

今後については9月5日期限の答申を受け、監事に意見を求めた後、9月定時理事会で審議する。佐久間監事から、今回の組織図を俯瞰して、改めて協会の規模からすると、委員会の数が多過ぎると感じているという発言があった。

議案第3号 海外競技団体からのJMSCA招待状要請に対応するための規定づくりに係るSC国際委員会への諮問について

望月専務理事が資料を基に説明し、諮問することについて、異議なく承認された。

棄権 0名 反対 0名 賛成 21名

議案第4号 auが開発したチーム管理システム「ANY TEAM」の利用によるユース育成事業について

小田部常務理事が資料を基に内容の説明をし、その後、実施する上での課題や、岳連、国スポ、高体連への伝達方法などの意見が出された。それらを踏まえ実施の如何について採決を行い次のとおり、実施することで決した。

棄権 0名 反対 0名 賛成 21名

議案第5号 オフィシャルサプライヤー契約について

小田部常務理事が2026～2029年度の契約書案を基に、本年度までの契約との違いを説明した。また、当議案は、今回は審議のみで、来月9月に決議する予定であり、内容をよく確認してもらいたいと補足した。質疑はなかった。

議案第6号 山岳共済会と他社との提携について

望月専務理事が、交渉の途中報告として協定案を説明した。当議案は審議のみ。質疑はなかった。

議案第7号 IFSCネーションズ・グランドファイナル & IFSCパラクライミングマスター(2025年10月23～26日)への協力について

畑中副会長が資料を基に、当大会の内容と、JMSCAは主催や主管ではなく協力であるとの役割を補足説明し、その後採決を取り、以下のように異議なく承認された。

棄権 0名 反対 0名 賛成 22名

議案第8号 公認申請したSC競技会の承認について

- ①クライミングドリームカップ in 西条 (スピードのみ)
- ②第8回全国ボルダー小学生競技大会
- ③第3回神奈川スピードクライミング競技会

藤江理事が、資料を基に説明し、以下のように異議なく承認された。

棄権 0名 反対 0名 賛成 22名

- 議案第 9 号 クライミングドリームカップ in 西条の後援について
赤尾事務局長、武田理事が、資料を基に説明した。
スピードだけでなく、全競技が後援対象とのことだが、開催要項の
公認対象の表記に間違いの恐れがあるので、内容を再度精査したうえで、
普及委員会とも協議し次回常務理事会で諮ることになった。
- 議案第 10 号 JMSCA 新役員研修会の実施案について
令和 7 年度から就任した役員全体が対象で、9 月 23 日（火） PM1:00 から
PM5:00（3 時間説明、1 時間 Q&A+休み）に実施、現地と Zoom で実施。赤尾
事務局長が人数確認と部屋の確保をすることになった。
- 議案第 11 号 補正予算の編成について
望月専務理事が、現在補正予算を提示している委員会（SC 普及、技術、SKIMO
補助金に変更したところなど）の補正数値一覧を表示した。これ以外の委員会
で、補正がある場合には、8 月 22 日（金）までに連絡することが確認された。
- 議案第 12 号 共催事業「Jr クライミング体験会 2025in ロクボク」の実施について
藤江理事が、資料を基に説明し、望月専務理事が補足説明し、その後
異議なく承認された。
棄権 0 名 反対 0 名 賛成 22 名

7. 報 告

- 報告第 1 号 7 月末時点の主な収支及びキャッシュフローの状況
赤尾事務局長が、配布資料、資金状況のまとめ（キャッシュフロー）と、予算
管理表を基に、現状の説明をした。
- 報告第 2 号 令和 7 年度 SC ブロック別研修会の実施について
原理事が、資料を基に説明した。
- 報告第 3 号 第 81 回国スポ（宮崎）大会競技別リハーサル大会開催に係る承諾書提出につい
て
原理事が、資料を基に説明した。
- 報告第 4 号 第 82 回国スポ（長野）大会競技会会期（最終案）の同意書提出について
原理事が、資料を基に説明した。
- 報告第 5 号 JMSCA 公認夏山リーダー資格認定の承認について
廣川副会長が資料を基に、常務理事会で承認済みであることを報告した。
- 報告第 6 号 JSPO 公認 SC コーチ 1（富山会場）認定の承認について
藤江理事が資料を基に、常務理事会で承認済みであることを報告した。
- 報告第 7 号 IFSC クライミング世界選手権ソウル 2025 派遣選手選考リストの承認について
畑中副会長が資料を基に、常務理事会で承認済みであることを報告した。
- 報告第 8 号 2025 年前期海外登山奨励金選考結果の承認について
廣川副会長が資料を基に説明し、4 隊に対し総額 100 万円の奨励金を配分

することが、常務理事会で承認されたことを報告した。

報告第 9 号 ISMF 総会（10/18 メキシコ・カンクン）への出席について
小田部常務理事が、資料を基に、当該総会の内容と JOC IF 役員獲得プログラムを利用して参加することを報告した。

報告第 10 号 総務企画委員会の構成について
望月専務理事が配布資料を基に説明した。

報告第 11 号 第 20 回アジア競技大会（2026 名古屋）テクニカルオペレーションマネージャー候補者の推薦について
畑中副会長が配布資料を基に候補者を説明した。

報告第 12 号 IFSC コーチコミッションへの JMSCA 候補者の推薦について
望月専務理事が、SC 部から提示された候補者を推薦した旨報告した。

報告第 13 号 事務局対応時間の提案について
赤尾事務局長が、電話窓口時間 10:00-12:00, 13:00-17:00 とし、12:00-13:00 は留守電対応とすることを報告した。当内容を、対外的にうまく伝達することが必要との意見がでた。

報告第 14 号 年度末資金繰りの方策について
赤尾事務局長が現在の取り組み状況を口頭で説明した。

報告第 15 号 2026 年新春懇談会の実施方法について
赤尾事務局長が、他の候補会場も料金等調査しているが、大きくは変わらないこと、午前中の運営方法（内容、使用業者等）を見直すことで、費用削減していく方向であることを報告した。

報告第 16 号 役員派遣ほか渉外等について（8 月～10 月）

8 月 15～16 日 クライミング体験キャンプ in 銚田 及び 関連表敬訪問（会長）

8 月 20 日 IFSC クライミンググランドファイナルズ開催発表記者会見（会長）

9 月 6 日 国スポ競技順抽選会（望月専務、原理事（国スポ委員長）ほか）

10 月 3～5 日 滋賀国スポ（会長、畑中副会長）

10 月 25～27 日 全日本登山大会兵庫大会（会長、廣川副会長）

8. 各委員会議事録について

BOX の運用を開始したので、今後、ファイルの収納や、使い方について指示をする。

9. 今後の予定

令和 7 年度 9 月常務理事会 9 月 9 日（火）

令和 7 年度 9 月第 7 回理事会 9 月 11 日（木）

令和 7 年度 10 月常務理事会 10 月 7 日（火）

令和 7 年度 10 月第 8 回理事会 10 月 9 日（木）

中間監査 10 月 末日予定

10. その他

- ・古賀理事が、全日本登山大会申込締め切りが、明日の8月15日（金）だが、参加申し込みが予定より少ないので、対応が必要な旨の説明があった。その結果、以下を実行することになった。
 - 理事、監事は、自分が属するブロック、岳連ごとに、参加の推進と、参加人数を収集
 - 締め切り日の延長の検討
 - 事務局は理事、監事の参加可能者数をまとめる。

- ・【報告】 篤志家からの借入金 4000 万円の返済を予定どおり実施し利息が寄付された。
- ・【報告】 現時点で基金は2名から120万円申請あり、さらに追加の動きがある。なお、基金募集にあたり JMSCA 財政状況の報告等をすべきとの意見有。

令和7年8月14日

記録

赤尾浩一